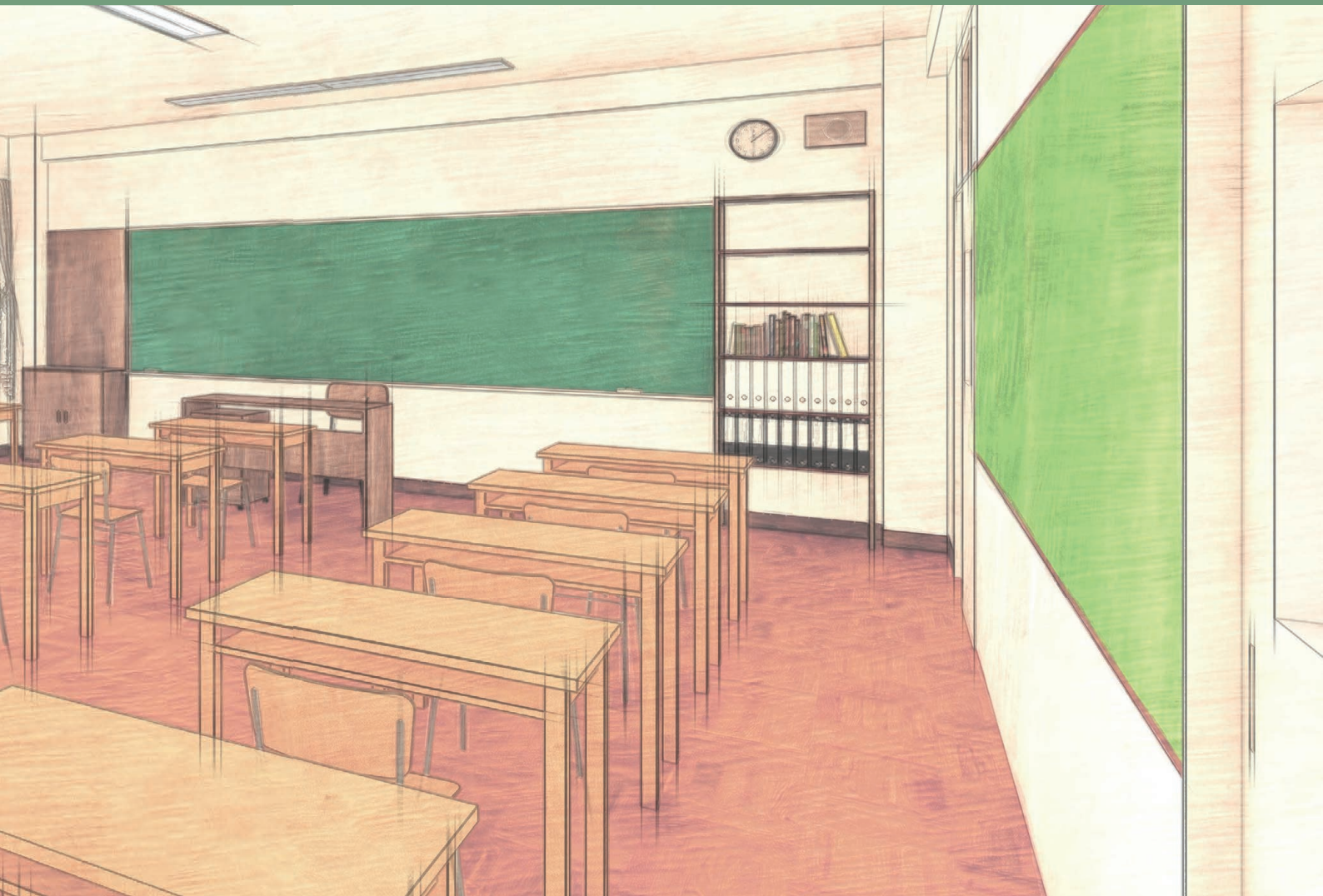




教室からはじめる SDGs

教室断熱ワークショップの魅力のすべて



こんなにたくさんある!

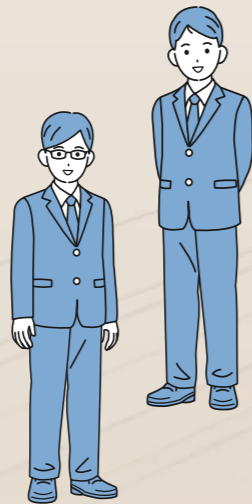
教室断熱ワークショップの 魅力をご紹介します

先生や生徒、工務店、メーカー、行政など
様々な立場の人が参加する断熱ワークショップ。
どんな魅力があるのでしょうか?

行政 にとっての魅力

脱炭素アクションの普及啓発

太陽光発電やEV導入以外に、身近な脱炭素アクションのひとつがこの教室断熱WS。
参加者が多く、学校発で地域への普及啓発効果が期待できる。



学校を断熱文化の発信拠点に!

断熱WSはあくまで始まり。学校や生徒が断熱の良さを発信していき、地域に気候変動対策が広がっていく。

地域貢献で業務の拡大へ

生徒への指導を通じてスタッフの人材育成につながるとともに、建設産業・会社の魅力発信に。断熱WSに参画することで地域での業務拡大のきっかけになる可能性も。



工務店 にとっての魅力

先生・生徒 にとっての魅力

SDGsを探究学習の材料に

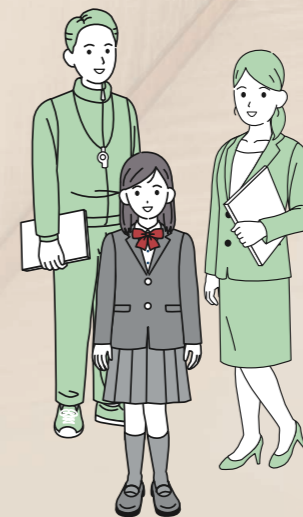
SDGsや環境問題など世界共通の課題に対して、実はわたしたちの身近なところからアクションを起こせる! という実感が得られる断熱WSは探究学習の材料としてピッタリ。

体験学習で自己効力感UP

生徒の身近な「暑い、寒い」という課題をテーマに、断熱WSの実践を通じて自ら“変化”を起こし、成功体験をすることができる。快適空間で勉強もはかどる!

自己理解と仕事理解

様々な職業の大人に出会うことで、生徒が将来自分が何をしたいのか考えるきっかけになるとともに、視野が広がる。



地域連携のきっかけに

地域の大人=保護者や工務店、行政との共創により、学校と地域の連携につながる。
先生にとっても、生徒の探究や成長をサポートしてくれる仲間が増える。

進路選択に活用できる!

生徒が、断熱WSを企画し、あらゆる大人と調整し、他の生徒にも発信するというプロセスで様々なスキルが身につく。この経験が受験・就職などの挑戦の際に生徒の自己PR、進路選択に活用できる。

学校から始める断熱ムーブメント

そもそも“断熱って?” “どんなワークショップ?”
そんなことが気になってきたあなたにご説明します。

断熱ワークショップとは?

断熱ワークショップとは、教室の壁や天井に断熱材を入れたり、窓を二重にしたりして、外気との温度の行き来をさえぎる加工を施すDIY。断熱することにより、夏は涼しく、冬は暖かく過ごせます。学校と地域がつながり、様々な人と協働することで視野が広がります。気候変動対策などへの探究心が高まるメリットいっぱいの活動です。

断熱ワークショップをやりたいと思ったら…

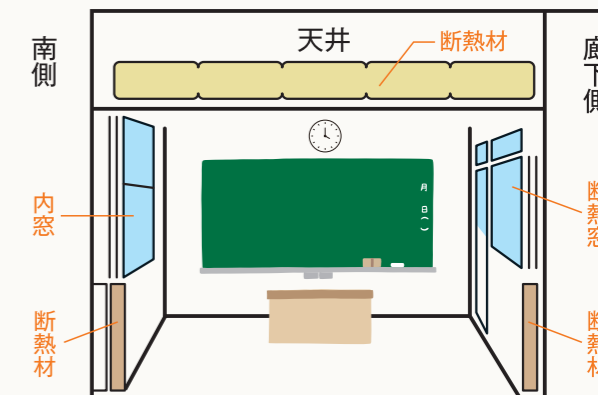
STEP 1	明確なビジョン・目的を持つ	(例) <ul style="list-style-type: none"> • 教室を過ごしやすい環境にする • 探究学習のテーマとして取り上げる • 地域の方との活動・交流の場とする • 建築産業の職業体験、キャリア教育につなげる
STEP 2	誰と協働したらできる?	<ul style="list-style-type: none"> • 学校でやる場合、まずは学校の先生に相談 • 地域で断熱施工に詳しい工務店さんやメーカーさんを見つける
STEP 3	どこで実施するか決める	(例) <ul style="list-style-type: none"> • みんなが使う教室や相談室、保健室 • 建物としての断熱効果を考えた最上階 • 工務店さんに相談 など
STEP 4	費用を計算し、資金を集める	<ul style="list-style-type: none"> • 断熱を実施する箇所によって必要な費用も異なる。 • 材料だけでなく、工務店さんの工賃なども加味する必要あり。 • 詳しくはP.16を確認!
STEP 5	準備と実施	<ul style="list-style-type: none"> • 当日参加者を集める。誰に来てもらうといいか考える。 • 成果を図るために必要な計測はどうやる? • 気候変動に関するレクチャーで意義を共有
STEP 6	効果検証と発信	<ul style="list-style-type: none"> • 参加者や実施教室の利用生徒、先生の声聞いてみる • 計測して温度変化やエネルギー利用量の変化を調べる • 成果を広く発信!



断熱とは?

断熱とは文字通り「熱を断つ」ことです。日本の多くの建物は、窓ガラスが1枚だけだったり、薄い壁や天井板だけで作られていたりするので、外の温度が室内に伝わりやすい構造です。そこで、室外と室内の境の壁や天井、窓に、熱の伝わりにくい材質でできた「断熱材」をすき間なく敷き詰めて外気温を遮断するのが断熱です。新築の時に施すのが簡単ですが、既にある建物を断熱改修することも大事です。

教室の断熱できる場所



日本の学校の教室は寒くて暑い!

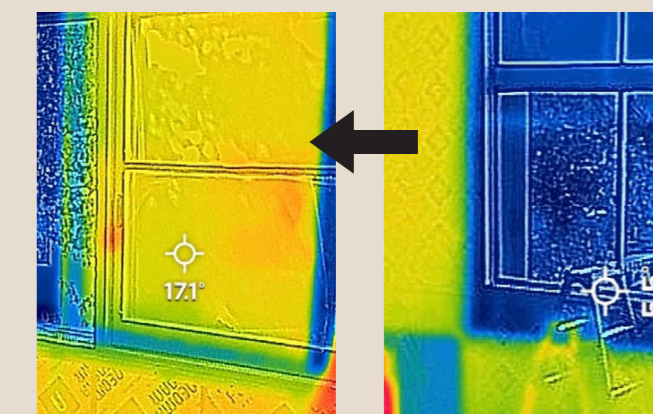
冬、カイロ（暖房）をたくさんつけるより、まず、セーター（断熱材）を着よう! 冬、服を着ていなかったら、どんなにたくさんのカイロをつけても、寒いんですよね。建物も同じです。セーター（断熱材）や、ウィンドブレーカー（気密）を着なければカイロ（暖房）だけを使っても、暖かくなりません。また断熱材は夏の外の暑さを遮断し、冷房の涼しさを外に逃がしません。断熱は冬にも夏にも役立つのです。



断熱のメリット

- 夏も冬も快適な室温に近づく。
- 快適な室温は、健康に良い。
- 快適になれば集中力が高まり、学習効率が上がる。
- 教室内の温度のムラが減り、ストーブから離れても寒くない。
- 冷暖房を切っても室温が長く保たれる。
- 換気で窓を開けた後も、冷暖房がすぐ効く。
- エアコンやストーブがよく効くようになるので、暖房や冷房の使用量が少なくてすみ、電気代や灯油代を節約できる。
- CO₂の排出量が減って、気候変動対策になる。

冬の窓の表面温度



断熱後▶17度

断熱前▶5度

これまで累計 **650** 名以上が参加！

長野県内で広がる断熱ワークショップ

白馬高校での実施を皮切りに、上田高校などの高校、さらには小学校や中学校にその実践が広がっていきました。断熱WSに参加した工務店さんや親御さん、生徒が自分の地域でも企画する、そんな流れが生まれています。

白馬高校

3人の高校生自ら企画し、寄付を集めることからスタート！

当時の白馬高校生3年生の3人のアクションがきっかけ。2019年5月の気候変動に関するシンポジウム参加後、9月には3人が中心となり「グローバル気候マーチ in 白馬」を企画。このマーチには約150名ほどが参加し、行進をしながらあちこちで署名を集めた。後日、白馬村の村長にその署名を手渡すとともに「日本で一番最初の気候非常事態宣言してください」とお願いし、その年の12月白馬村は気候非常事態を宣言。その後、他県での断熱WSの事例を知った3人が、有識者に自ら協力を仰ぎ、企画。地域企業さんにも寄付・協力を依頼し、開催。



当日の様子は信州環境カレッジ 信州ゼロカーボンWEB講座でも見ることができます！



令和4年 (2022年)

令和3年 (2021年)

上田高校

気候変動へのアクション！ 課題研究から 継続プロジェクト

2021年開催の『北陸新幹線サミット』をきっかけに、断熱ワークショップに出会った当時の1年生が同年10月に友人2人と共に「上田EFSプロジェクト」を結成。同年12月に断熱ワークショップを初開催。後輩に引継ぎながら、3年間活動を展開している。

上田高校で断熱プロジェクトを始めた桑田彩芭さんの取組については「くらふと信州」WEBサイトのインタビュー記事をご覧ください。



大日向 小学校

子どもの声で はじまった探究

子どもたちと先生や保護者、理事がそれぞれの意見を出し合う場で子どもたちから出た「夏、学校が暑い」。「でもエアコンをつけたら解決するの？それって、世界全体のことを考えたときいいことなの？」という視点ももってほしいと願う大人たちが動き出した。保護者のつながりで断熱WSと出会い協力工務店を見つけていくなど、大人たちの協力が子どもたちの学びにもつながった事例。詳細はp.10,11をご覧ください。



城北 中学校

地域の工務店さんを 巻き込んだ“公民連携”モデル

数年前にすでに地元工務店と市で、商店街の断熱WSを実践した経験がある中で、統合となる小学校の建て替えがきっかけとなり、向かいの中学校での実践につながる。当日は、城北中の生徒のほか、高校生や地域の工務店や建築を学ぶ学生など多くの関係者が、断熱施工を学ぶ機会となった。地域への波及効果が期待される。詳細はp.12,13をご覧ください。

令和5年 (2023年)

県立高校で広がる！

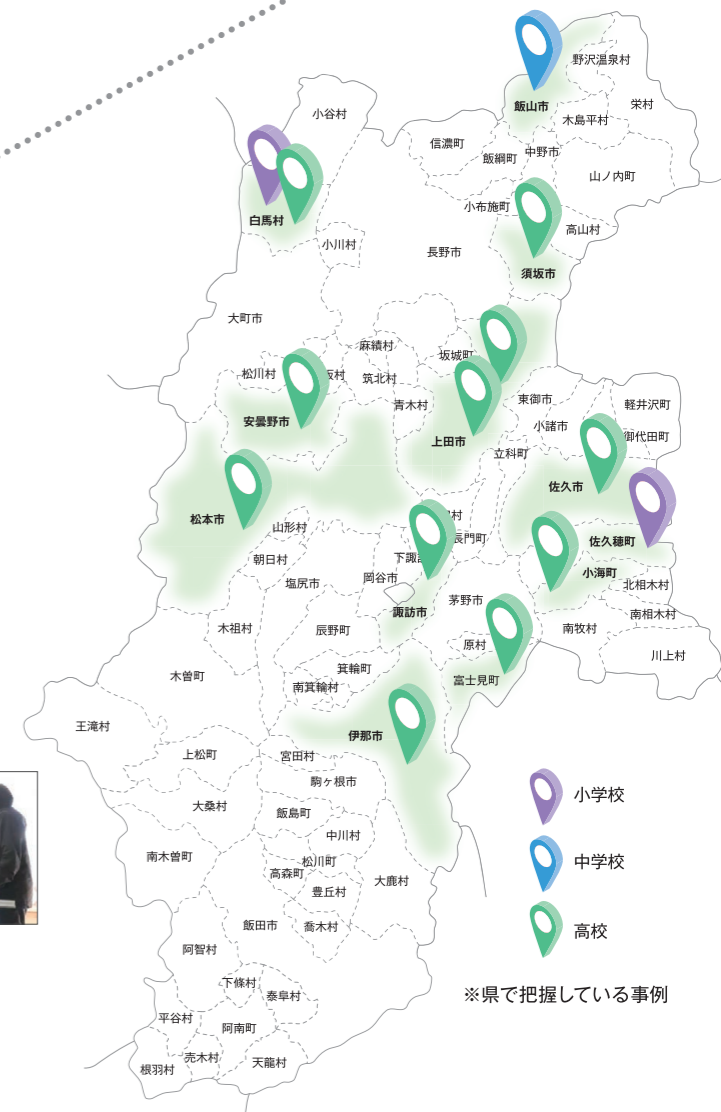
県教育委員会も断熱WSを応援。県内高校へ徐々に広がっている。
 〈令和4年度〉白馬高校、上田高校、上田染谷丘高校、岩村田高校、須坂高校、穂高商業高校
 〈令和5年度〉上田高校、上田染谷丘高校、白馬高校、小海高校、高速高校、松本県ヶ丘高校
 〈令和6年度〉白馬高校、小海高校、富士見高校

実施校の様子を 動画にまとめました！

令和2年度の白馬高校、令和4年度の岩村田高校、上田高校の断熱WSの様子を動画にしています。窓、天井など様々な箇所の作業の様子がイメージをつかむことができるのでぜひご覧ください。



令和6年 (2024年)



断熱実施後の温度変化などを
実際にデータに出してみることで、
より具体的な環境課題が発見できた。

●松本県ケ丘高校現役生徒



断熱WSを
他の組（全クラス）にも
導入してほしい。

●高遠高校現役生徒



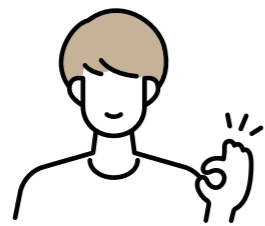
工務店などの
大人の方々と一緒に
作業ができてよかった。
貴重な体験ができた。
その後もつながりができて、
良くして頂いた。

●大日向小学校既卒生徒



親切&丁寧に
教えてくださった上に、面白く、優しく、
色々なこともお話できて
めちゃめちゃ楽しかった。
本当にありがとうございました！

●上田染谷丘高校現役生徒



日光のみでも暖かい。
隙間風のような寒さを
感じない。
木の質感が出ていて、
内装の雰囲気が良い。

●上田染谷丘高校現役生徒



VOICE 「生徒の声」 集めました

断熱ワークショップに関わった生徒さん、断熱改修された教室を使用する生徒さんの声をご紹介します。

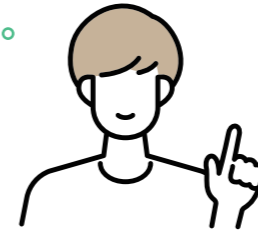


（作業が）楽しかった。
将来建築業に進みたいと
思っているので、
いい体験だったと思う。

●小海高校現役生徒

道具の使い方や
作業手順をわかりやすく
説明してくれたり、
大人の方々と協力して
作業することができて
楽しく感じた。

●岩村田高校既卒生徒



今の地球はすごく危ない
状況であることを知り、
今後の生活で地球に
やさしいものを使ったり、
地球にやさしい行動を
とりたいと思った。

●小海高校現役生徒



●上田染谷丘高校現役生徒

冷房や暖房を
全くつけなければ
あまり変わらないけれど、
（冷房・暖房を）一瞬だけ入れれば、
切った後も教室の室温が保たれて、
とても快適に過ごせる。
また、木材が綺麗で青春を感じる。



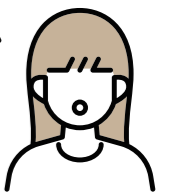
断熱WSを実施する
教室を増やすことで、
電気の使用量を
抑えることが
出来ると思った。

●城北中学校現役生徒



教室はまだ断熱WSが
実施されていてマシだけど、
廊下がものすごく寒い。
廊下の窓も二重窓にして欲しい。

●穂高商業高校現役生徒



先輩からのメッセージ

桑田彩芭さん
Kuwata Iroha



上田高校OG
法政大学 人間環境学部 1年

高校1年生のときに、2021年に開催された『北陸新幹線サミット』への参加がきっかけで、友人2人と「上田EFSプロジェクト」を結成し、断熱ワークショップを企画運営。3年間の活動を経て、現在は大学へ進学し、環境面のみならず持続可能な社会の追求を続けている。

「現在、気候変動対策を研究テーマにしていますが、高校での活動が、その“土台”になったと思っています。

学生、民間企業、行政の3つの連携があるからこそ、包括的なアプローチができて見落としがなくなる。積極的に活動することで、リーダーシップを培ったり、高校では得られない大人たちとのつながりができる。

自分が考える課題に対して、必要な考え方も仕組みも学べた、とても大切なものでした。

大学生になったいま、今度は私が高校生たちとつながっていきたいと思っています。」



佐久穂町

大日向小学校



子どもの声に大人たちが協力



Point1

思いは子どもから、形にするサポートは大人たちで

まずは子どもの声や思いが原動力になることで、後押しをする形で大人たちも一つになっていく。

Point2

地域の協力は保護者を經由することでスムーズに

子どもの保護者は、学校に最も身近な地域住民。保護者の理解や協力が得られることで、地域を巻き込みやすくなる。

Point3

「暑い」「寒い」はあらゆる学校で断熱WSの合意形成しやすいキーワード

子どもたちの「暑い」「寒い」という体感は緊急課題かつ共感を得やすい。地球のことも考えたときの解決策として断熱WSを選択。

Interview



久保礼子校長（中央）と保護者の皆さん

子どもの声を求心力に、大人たちを巻き込む

大日向小学校では、子ども、親、教師、学校法人理事の声を共有するセッションが定期的で開催されています。

「子どもから『教室が暑い!』という声が挙がり、改善のために何ができるかを探る中で断熱改修を知りました」(保護者)

自然エネルギーの勉強会を開催していた保護者グループが断熱改修の専門家に学び、地域の工務店に声をかけるなど、学校と地域を巻き込んでいきました。

「親御さんは、学校にとって最も

身近な地域住民でもあります。地域の工務店等との連携も、親御さんを経由したことでスムーズに進みました。」(校長)

協力した工務店は、会社として断熱改修を強化しようとしていたタイミングであり、良い実践的学習の機会に。さらに、地域住民を巻き込んだことから、将来的な新規顧客の獲得にも繋がりました。保護者の中でも意外な専門性や強みが共有され、新たなコミュニティが生まれていったそうです。

「まずは、子どもたちの思いや意欲を引き出す場を作ること。そして、子どもの声や思いが原動力になり、それを形にしていけるためのサポートを大人たちで行っていくことができました。」(校長)



インタビューまとめ

きっかけは「学校セッション」での「教室が暑い!」という子どもの声から始まった大日向小学校の断熱WSの取組。「ただエアコンを導入すれば良いのか」を子どもに考えさせることで、気候変動についても学ぶきっかけに。学校、保護者、地域と活動が広がっていったことにより、自然と多様なステークホルダーからの協力を得ることが出来ました!



飯山市

飯山市立城北中学校



公民連携が地域を動かす



Point1

地域の工務店×行政担当者の思いが起点に

県内有数の豪雪地帯である飯山市。「飯山市に断熱を広めたい!」という熱い思いを持つ工務店と行政担当者の協働により、ワークショップが実現。

Point2

SDGsへの課題意識だけじゃない切り口

断熱ワークショップは、建築分野への興味関心や、「楽しそう! やってみたい!」という好奇心も原動力に。

Point3

公民連携で地域に拡大

行政担当者と地域の工務店の連携により、学校現場でのワークショップが実現。多様な人を巻き込むことで、ただやるだけで終わらずに断熱の知識や効果が地域へ広がっていく。

Interview



江口信行さん (飯山市建設業協会 会長)



山崎裕晃さん (飯山市公民連携推進課)

子どもだけでなく若手の人材育成の機会に

飯山市公民連携推進課では、市を挙げてゼロカーボン推進していきたいという思いから、2021年から商店街の空き店舗を活用した断熱勉強会やワークショップを開催していました。しかし、ワークショップで断熱した建物を取り壊しとなるなどで、活動が縮小。再び動き出すきっかけとなったのは、地域の工務店による働きかけでした。

「今度は公共建築物を舞台に断熱ワークショップをやってみよう。ただワークショップをやるだ

けではなく、市民の皆さんに普及させたいという思いがあったため、行政や学校、地域の人たちと、とにかくいろんな人を巻き込むことを意識しました。」(山崎)
飯山市城北中学校からも参加者を募り、「建築の仕事に興味がある」「なんだかおもしろそう」「みんなと一緒にやってみたい」と、多数の生徒が集まり、初めての作業を楽しみました。また、育成の機会となったのは学校現場だけではありません。

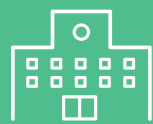
「行政の技術職員たちにも、断熱

の勉強会やワークショップに参加してもらいました。行政の若手の職員たちが、実際に効果を実感して感動していたことがうれしかったですね。断熱ワークショップは、環境への好影響はもちろん、建築分野への職業的好奇心や作業自体の面白さ、学びの機会になると感じています」(江口)



インタビューまとめ

断熱ワークショップをきっかけに地域の人たちをうまく巻き込んでいくことで、子どもたちだけでなく行政や地域の若手職員の人材育成や意識醸成の機会に! 地域の子もたちが地域で働く大人と出会う接点にも。



松本市

長野県松本県ヶ丘高等学校



探究学習のテーマに採用!



Point1

探究学習×SDGsの具体的な選択肢としての断熱

世界の環境問題という大きなテーマを、学校の教室の断熱という身近なアクションに落とし込んで考える機会として断熱ワークショップを活用。

Point2

生徒主導! 学外の大人との接点に

工務店との事前打ち合わせを生徒たち自ら進めていくことで、地域の様々な大人とつながるきっかけになる。実現までのプロセスも経験に。

Point3

DIYだけじゃない! データ測定・発表も重要な要素

効果・仮説検証の結果は、学内だけでなく地域へ広く発信! 幅広い世代からのフィードバックが、さらなる探究につながっていく。

Interview



断熱WSをテーマに探究学習を進めた生徒の皆さん

探究学習の具体的なアクションとしての断熱改修

県ヶ丘高校の一年生の探究の授業では、同じテーマに関心のある生徒がグループを作り、課題の探究に取り組んでいます。

「私たちは、SDGsに興味を持って集まりました。最初はプラスチックごみ削減を考えていたのですが、具体的なアクションに結びつかず困っていたところ、先生が長野県の断熱改修について教えてくれました。」

生徒たちは、最終的な目標を断熱後の効果計測に設定し、環境に優しい断熱材や、データ収集

の仕方について調べていきました。

「何から始めたらいいかわからなかったんで、まずは断熱材のメーカーさんに電話をしました。そこから工務店の方とつないでもらい、自分たちで打ち合わせを進めました。」

時に三人の意見が別れることもあったといいます。しかしその分、チームで物事を動かしていくことの大変さや、企業との連携・調整の仕方を学ぶことができました。

「測定したデータをもとに、研究結果を地域で発表しました。幅広い世代の方からフィードバックをいただけてうれしかったです。この経験を、今後の探究の授業にも生かしていきたいです。」



インタビューまとめ

一方的に「断熱ワークショップをやろう」と生徒に勧めるのではなく、まずは生徒たちの興味関心に寄り添った上で、具体的なアクションとして提案したことで、断熱改修を生徒たちの主体的な学びの機会に転換できました!

First Steps

断熱ワークショップ「はじめの一步」

「断熱ワークショップをいざやってみよう」と思っても、「お金はどうしよう」「みんなに協力してもらえるかな」など課題はさまざま。このページでは、これまでの実施校の事例を紹介、みなさんの断熱ワークショップのはじめの一步を後押しします！



Q. いくらかかるの？ お金はどう集めた？

A. これまでの実施校の事例を参考に、断熱ワークショップの実施にかかる費用について紹介します。教室の断熱WSでは、壁や内窓、天井を断熱します。どの箇所を断熱DIYするかによって、金額は変わってきます。物価の変動もありますので、実行に移すときに、工務店さんと費用について相談してみましょう。

概算費用〈材料費〉	
・壁 材	▶30~50万円
・内 窓	▶60~100万円
・天 井	▶50~80万円 (天井は、最上階のみ実施可能)
・その他	▶1~10万円

※あくまで目安です。

実施校の資金調達事例

長野県教育委員会予算、市町村教育委員会予算、地域発 元気づくり支援金、同窓会からの支援、各学校予算、クラウドファンディング、独自の寄付金

Q. みんなどんな目的でやっているの？

A. 地域・学校ごとにさまざまに目的をもって断熱WSを実施しています。おおまかな流れは同じですが、どのプロセスを重視して組み立てるかはその目的次第です。

目的例

- 【学校】
 - ・児童・生徒が使用する教室等の学習環境の改善
 - ・探究学習や総合学習を活用した気候変動についての脱炭素アクションの実践
 - ・普段なかなか機会のない「大人」と関わることで、将来のキャリアを見据えた仕事理解
- 【工務店】
 - ・建設業関係者のスキルアップや地域貢献
 - ・地域における断熱改修の普及
- 【行政】
 - ・地域の公共施設や住宅への断熱改修の普及
 - ・断熱WSを通じた環境教育の推進

Q. 協力者をどう募った？

A. 断熱ワークショップをいざやってみようと思っても、1人では実現できません。学校の先生や建築の専門家、当日の作業をサポートしてくれる工務店の方々の協力が必須です。18ページにこれまでの実施校の基礎データを記載しています。19ページには、ワークショップ当日の作業や、断熱材等の資材提供で協力してくれる「断熱応援団」の案内を掲載していますので、参考にしてみてください。



Q. 授業として実施しているの？

A. 教室断熱ワークショップには、生徒たちの気候変動に対する理解を深めるための総合学習・探究学習や、学校の学習環境を向上させようとする生徒会活動など、さまざまな活動形態があります。断熱ワークショップの実現はあなたの「やってみよう」から始まります。

活動例

部活動・班活動、生徒会、授業、総合学習・探究学習、有志を集めた活動



実施校の基礎データ

エリア	実施校	実施日	予算	実施場所	実施箇所	活動の枠組み	サポートしてくださった方々
東信	大日向小学校	令和4年 4月29日、30日	長野県「地域発元気づくり支援金」、寄付	保健室	壁、窓	保護者有志が呼びかけ、他の保護者と児童、教職員が参加（GW中の任意の活動として）	旭化成建材株式会社、株式会社カネト、有限会社新津技建、断熱推進イニシアチブ合同会社、保護者有志、町民有志
中信	白馬南小学校	令和3年11月22日 令和4年 10月28日、 11月16日	市町村教育委員会予算、クラウドファンディング	一般教室	壁、窓	授業、探究学習や総合学習、PTA	一般社団法人白馬村観光局、株式会社新東通信、株式会社守破離、株式会社イノアックコーポレーション、PTA
北信	城北中学校	令和6年8月6、7日	長野県「地域発元気づくり支援金」補助残は、飯山市予算（市長部局）	最上階（5F） 3年生教室 （2教室分）	窓、壁、 天井	中学生有志生徒を募る 市内高校生保護者 一般についても募集し参加	有限会社江口建設、高津電気工事株式会社、YKKAP株式会社、旭ファイバーグラス株式会社、株式会社イノアックコーポレーション、シャープエネルギーソリューション株式会社、後援/公益社団法人長野県建築士会、協力/飯山市建設業協会、飯水岳北建設労働組合、北信地域振興局、飯山市
北信	須坂高校	令和5年2月6日	長野県教育委員会予算、同窓会	LL教室	壁、窓	生徒会、希望者	堀内工務店、YKK AP株式会社、株式会社イノアックコーポレーション、栗林建設有限会社、長野森林組合
東信	上田高校	令和3年12月19日 令和4年12月11日 令和5年 11月11日、12日	長野県教育委員会予算、一般社団法人NECO	一般教室、 学習室	天井、壁、 窓、床	有志活動	有限会社クボケイ、NPO法人上田市民エネルギー、一般社団法人NECO、株式会社エネジーまちづくり社、株式会社アグリトライ、長野県
東信	上田染谷丘高校	令和5年 2月25、26日 令和6年 2月10、11日	長野県教育委員会予算	一般教室	天井、壁、 窓	生徒会	NPO法人上田市民エネルギー、一般社団法人NECO、有限会社クボケイ、株式会社アグリトライ、株式会社イノアックコーポレーション（断熱材提供）、株式会社第三木材（資材提供）
東信	岩村田高校	令和4年1月28日	長野県教育委員会予算	生徒会室	壁、窓	生徒会	株式会社大井、断熱推進イニシアチブ合同会社、旭化成建材株式会社、NPO法人上田市民エネルギー、佐久地域振興局
東信	小海高校	令和5年12月19日 （事前学習会）、 25日、26日（作業）	長野県教育委員会予算	特別教室 （コンピュータ室）	天井、窓	生徒会	株式会社大井、旭ファイバーグラス株式会社、NPO法人上田市民エネルギー
		令和6年12月20日 （事前学習会）、 26、27日（作業）	長野県教育委員会予算、 団体（学校を支援する 会）予算		壁、建具	生徒会	株式会社大井、株式会社イノアックコーポレーション、NPO法人上田市民エネルギー
南信	富士見高校	令和6年12月14日	富士見町ロータリークラブからの寄付金	一般教室	天井	探究学習	有限会社角大工務店、富士見町ロータリークラブ、富士見まちづくりラボ
南信	高遠高校	令和5年 12月9日、16日	長野県教育委員会予算	一般教室	天井、壁	有志活動	株式会社竹越工業所
中信	松本県ヶ丘高校	令和5年 12月4日、7日	長野県教育委員会予算	生徒相談室	天井、壁、 窓	探究学習や 総合学習	株式会社守破離、株式会社イノアックコーポレーション、長野県教育委員会事務局高校教育課施設係、長野県
中信	穂高商業高校	令和4年11月29日、 12月1日、12月17日	長野県教育委員会予算	一般教室	窓	生徒会、授業、探究 学習や総合学習	有限会社会田建設、宇宙航空研究開発機構（JAXA）
中信	白馬高校	令和2年 9月19～21日	地域の人からの寄付	3B教室	天井、壁、窓	有志活動	株式会社守破離、NPO法人上田市民エネルギー、自然エネルギー信州ネット、一般社団法人NECO、株式会社エネルギーまちづくり社、株式会社アグリトライ
		令和4年3月19日	ペイシア財団助成金	3A教室	天井（半分）		株式会社守破離
		令和4年11月19日		3A教室	天井、壁、窓		
		令和5年11月11日	長野県教育委員会予算	1B教室	壁、窓		株式会社守破離、株式会社イノアックコーポレーション、長野県
		令和6年11月30日		1A教室	壁、窓		

断熱WSに興味を持ったあなたへ

2025年4月～

「断熱ワークショップ相談窓口」を くらしふと信州に設置！

断熱WSに興味湧いた！でも誰に相談したらいいのかわからない…
そんな方のために、相談窓口を「くらしふと信州」に設置します。
まずはお気軽にメールでお問い合わせください。

場所：くらしふと信州（長野市問御所町1250-1）
Email：kurashifuto@pref.nagano.lg.jp



断熱WSを実践してみたいあなたへ

手引き

みんなの教室 断熱ワークショップマニュアル

断熱WSの準備や当日の流れなど、具体的な内容が知りたいと思っ
た方に朗報！
準備・実施に必要な手順が網羅された冊子「みんなの教室断熱ワ
ークショップマニュアル」を活用しましょう。
NPO法人上田市民エネルギーのWEBサイトからアクセスできます。
右の二次元バーコードからご覧ください。



断熱WSを応援したいあなたへ

「くらしふと断熱応援団」を募集しています

くらしふと断熱応援団とは？

長野県内の学校、地域における断熱ワークショップの実践にご協力いただける工務店様、メーカー様などを「くらしふと断熱応援団」として募集しています。企業PRはもちろん、生徒への指導による社員のスキルアップ、関わる生徒のキャリア教育等につながります。

【協力例】※必ずしも無償での協力をお願いしたいという趣旨ではありません。

- ・工務店様の場合……施工や生徒への作業指導
- ・建材メーカー様の場合……断熱材や県産材のご提供

【対象】趣旨に賛同いただける県内外のご協力いただける工務店様・メーカー様など（県内外問いません）

【登録費用】無料 【期間】随時募集しております

【申込方法】右の二次元バーコードからお申し込みください。

応援団のお申込みはこちらから▶

詳しくは「くらしふと信州」までお問い合わせください。

Email：kurashifuto@pref.nagano.lg.jp

応援団リストはこちらから▶

「くらしふと断熱応援団」リストはWEBサイトで公開中！



[発行]

くらしふと信州（長野県）
信州豊かな環境づくり県民会議

